



モビリティの視点から地域活性化へ 学生が作るデジタルマップ”Y's navi”をリリース

横浜国立大学の地域課題実習プロジェクト「モビリティ・デザインの実践*1」は、横浜国立大学内の情報を掲載したデジタルマップ”Y's navi”(<https://map.alt-cois.com/ynu/index.html>)をLocaliST株式会社（本社：横浜市保土ヶ谷区、代表取締役社長 有吉 亮、以下 LocaliST）と共同開発し2023年5月にリリースしました。Y's naviは従来の紙の地図ではできなかった、学内で販売中のお弁当の最新販売状況などのリアルタイムに変動する情報や学生活動に関する情報を掲載し、バスの現在位置や時刻表の一括表示等、学生視点で魅力的で知りたい情報を中心に掲載している点が特徴であり、横浜国立大学内のモビリティ（＝移動のしやすさ）の向上によるキャンパスライフの質の向上に寄与します。

Y's naviは横浜国立大学内およびその周辺の情報と、学生が行っている活動をリアルタイムで発信する、日本初の“地域情報×リアルタイム情報×学生活動”を発信するデジタルマップです。横浜国立大学のキャンパスは広く、学生が知らないような面白い場所や魅力的な活動が行われている場所がまだまだ多くある一方で、それらがあまり知られていないのが現状です。しかし、紙地図とは異なり、デジタルマップであるY's naviは、情報を即座に発信・更新することができるため、利用者は常に最新情報を確認できるとともに、よく確認しておきたい場所は画面を拡大して見ることもできます。

また、学生が仕様を決め、基礎データを作成し、LocaliSTがプログラミング技術を提供することで、本アプリを開発している点も大きな特徴です。開発を行う学生自身が、キャンパスライフを送る上で重要だと思える情報や、知れると嬉しい情報をピックアップして掲載しているため、横浜国立大学での生活がより楽しく、便利になることが期待されます。本アプリはwebアプリの形で提供されているため、PCはもちろん、スマートフォンやタブレットなど、インターネットに接続可能なデバイスでご利用いただけます。

Y's naviは今後も皆様の声を受けながらアップデートを重ね、Y's naviは地域と大学の魅力を発掘し、皆さんと共有できるような、地域における活動や人々を繋ぐまちのプラットフォームを目指します。そして、このようなリアルタイム情報と地域情報を組み合わせたデジタルマップの仕組みは、まちを知り、訪れるきっかけとしての社会装置の役割を果たすことができ、地域活性化を効果的に行うDX施策としても活用できる可能性があります。

【Y's naviの主な機能】



1. 和田べん

地域課題実習「アグリッジプロジェクト」は大学内で大学近隣の和田町商店街で調理したお弁当「和田べん」を毎日お昼休みに販売しています。お昼ご飯の選択肢の乏しい大学内において、ボリュームのあるお弁当を低価格で食べられることもあり、和田べんは学生や教職員に人気です。しかし、購入者にとって、和田べんは毎日違うメニューを販売し、かつ、売り切れるタイミングもその場に行かないと分からず、商品の購入が躊躇されやすいという課題がありました。そこでY's naviでは、その日販売する商品のメニューや最新の販売状況をリアルタイムに表示し、和田べんをさらに購入しやすくしています。



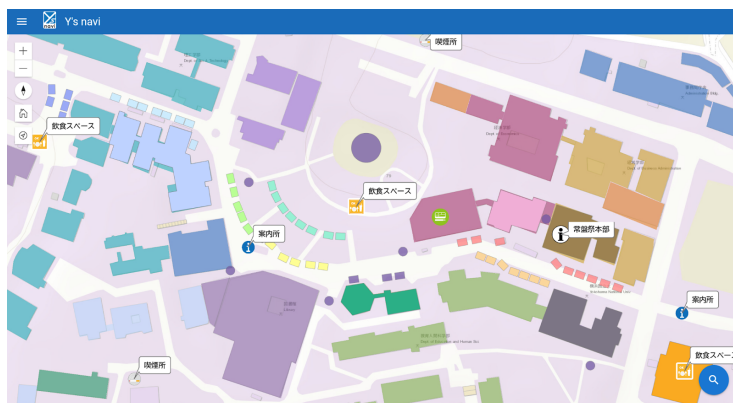
2. おすすめスポット

横浜国立大学は非常に広大なキャンパスを有し、学内には知られていない魅力的な場所がまだまだ数多く存在していますが、それらはあまり知られていません。そのような課題に着目し、来訪者におすすめしたい場所を発信するのがおすすめスポット機能です。学生視点から分かると嬉しい、ベンチの場所、ATM、横国の注目してほしい場所、自動販売機の場所をピックアップし、さらに横国での魅力的なキャンパスライフを送れるような情報を発信しています。学生目線の語り口で紹介される一言メモも特徴です。



3. 学園祭の出店表示

3年ぶりの対面開催となる横浜国立大学の学園祭をさらに楽しく過ごしてもらうために実装したのが出店情報表示です。出店する団体について、飲食の有無などの販売情報を、実際の出店場所となるテントの位置とともに掲示しました。画面のタップや拡大縮小など、利用者が感覚的に操作でき、かつその情報を一元的に理解できるというデジタルマップならではの強みを大いに活かした表示を実現しました。また、本機能の実装と共に行ったアンケートでは、「初めて横国に来たが、おすすめスポット情報もみながら、わかりやすく巡ることができ、横浜国立大学の雰囲気を楽しくつかむことができた。」というお声もいただきました。学園祭や、期間限定開催のイベントなどの、日々変動する情報も、常に最新状態で皆様にご確認いただける点はこの地図の大きな強みです。



4. バス現在地表示機能

急いでいるけど次のバスに間に合うのかが分からない。そんなときに嬉しいのがこのバス現在地表示機能です。公共交通オープンデータ協議会が公開している「公共交通オープンデータセンター*2」およびバス事業者のバス運行情報提供サイトから、異なる事業者が運行する路線バス（横浜市営バス、相鉄バス）のリアルタイム位置情報*3を取得し、同時に表示することで、バスの現在地を表示しています。また、メニューからは横浜国立大学周辺の停留所から横浜駅西口方面に出発するバスの時刻表を一括で表示することで、横浜駅に早くいけるバスの系統とバス停を知ることができます。

× 周辺バス時刻表 時刻表は2022年4月時点のものです。					
時刻表 (平日)					
発車予定	系統	行先	のりば		
09:52	浜5	横浜駅西口	D階段 ⑥のりば	国大西 発	国大南門 発
10:00	市営329	国大西	F階段 ⑥のりば	並台住宅第2 発	
10:00	浜11	上郷川駅	D階段 ⑥のりば		
10:05	市営329	国大西	F階段 ⑥のりば		
10:07	浜5	横浜駅西口	D階段 ⑥のりば		
10:11	市営201	横浜駅西口	F階段 ⑥のりば		
10:15	浜11	上郷川駅	D階段 ⑥のりば		
10:20	市営202	横浜駅西口	E階段 ④のりば		
10:22	浜5	横浜駅西口	D階段 ⑥のりば		
10:37	浜5	横浜駅西口	D階段 ⑥のりば		
10:40	市営202	横浜駅西口	E階段 ④のりば		
10:45	浜11	上郷川駅	D階段 ⑥のりば		

【注釈】

*1：モビリティ・デザインの実践とは

横浜国立大学では、グローバルな視野をもって地域課題を解決できる実践能力を身につけるプログラム「地域課題実習」を開講しています。「モビリティ・デザインの実践」は、地域課題実習の25あるプロジェクトの1つであり、「人々が移動しやすい空間と、その実現方策を描き出すこと」を目的に、多様な学部に所属する学生（28名）が、自治体や地域に顧客をもつ企業等と協働しながら、モビリティとまちづくりに関する課題解決やビジョン実現に向けた実践的な活動に取り組んでいます。詳しくはホームページをご覧ください。〈<https://mobilitydesign.localinfo.jp>〉



*2：公共交通オープンデータ協議会 〈<https://www.odpt.org/>〉

*3：相鉄バスの目先の現在地は、車載器のGPSで取得された位置またはバスが存在する道路区間上の代表点（隣り合うバス停間の中間）で表示され、一定の時間間隔で更新されます。

【お問い合わせ先】

◆モビリティ・デザインの実践 〈<https://mobilitydesign.localinfo.jp>〉

担当教員：池島祥文

(横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 准教授)

TEL&FAX：045-339-3569

E-mail：ikejima@ynu.ac.jp

学生代表：白岩元彦（都市科学部都市基盤学科4年）

◆LocaliST株式会社 〈<https://localist.alt-cois.com/index.html>〉

担当者：西岡隆暢

TEL：045-845-9153

E-mail：info-localist@localist.co.jp